

「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に伴う水害の検証を実施します

- 「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に伴う水害は、今後の信濃川下流部の河川整備を検討する上で重要な事案を多く含んでいます。そのため、今次の水害を対象とし、信濃川下流部に広がる新潟平野におけるこれまでの河川整備、今次の水防、避難に関する検証作業を実施し、新潟・福島豪雨を教訓として、信濃川下流域における今後の治水対策に関する基本的な方向性を検討していきます。
- 検証にあたって、学識者からなる「新潟・福島豪雨水害現地検証チーム」を設置発足します。
- 検証チームの成果を踏まえて、地方公共団体の代表、有識者にも参加頂き、「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に伴う水害を教訓とした今後の治水方策について検討していくこととしています。

【主な検証内容】

検証チームは信濃川下流域を対象として以下項目について検証

- ・ 気象条件と出水状況
- ・ 平成 16 年豪雨を踏まえた対策の今次豪雨時の治水効果
- ・ 信濃川下流域における治水バランス
- ・ 河川管理者の広報・情報提供、地域の水防活動
- ・ 避難実績とハザードマップなどの効果 など

【検証の進め方】

- ・ 検証チームのメンバー（別紙）がそれぞれ専門とする分野に係る検証内容について担当して、10 月末を目標に検証作業を行います。
- ・ 検証チームの 1 回目の全体会合は、新潟市内において 9 月 22 日に開催予定（全体会合の詳細は北陸地方整備局ホームページ等によりお知らせします）

新潟県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 025-280-8880（代表）（内線 3611）
河川計画課 課長 須賀 正志

新潟・福島豪雨水害現地検証チーム メンバー

(敬称略、五十音順)

氏名	所属
泉宮 尊司	新潟大学 工学部建設学科土木工学教授
伊藤 弘之	国土交通省国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 水害研究室長
関谷 直也	東洋大学 社会学部准教授
服部 敦	国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長
深見 和彦	土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ 上席研究員
細山田 得三	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授
丸井 英明	新潟大学 災害・復興科学研究所教授
安田 浩保	新潟大学 災害・復興科学研究所准教授
陸 旻皎	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授